

# コミュニケーション支援用具・機器の提案・開発

氏名 南雲 浩隆 准教授  
 所属 作業療法学科  
 URL <http://researchmap.jp/nagumo16>  
 研究分野 ●コミュニケーション支援用具・機器、難病、意思伝達  
 キーワード コミュニケーション、支援用具、ALS、神経、難病、意思伝達、福祉用具

## ■ 研究シーズの概要

・難病のコミュニケーションにおける支援用具・機器の特徴は、個別性が高いことです。必要性が高いながらも実用的な製品が不十分な状況です。しかしながら、これまでの研究から、一般化の出来る汎用性の高い製品を開発することが可能になってきています。

### コミュニケーションのステージ分類と対応



### コミュニケーション用の支援用具



## ■ 共同研究・受託研究のご提案

・難病のコミュニケーション、支援用具・機器について、共同研究や提案を致します。  
 ・福祉用具・機器の適合と支援技術に関する研究  
 神経変性疾患、いわゆる難病は進行性の病気であり、身体機能の状況に合致した支援用具・機器を活用することで、日常生活の自立度を高めるとともに、生活の満足度を大きく改善することが可能です。特にコミュニケーションは、「意思を疎通する営み」として重要であり、身体機能の状況に応じた対応が必要となります。なかでも、ALS向けのスイッチは種類が多く、さらには個別性も大きいため導入には細心の留意と対応が必要です。これらについて開発・改良を進めて製品化してみませんか。  
 ・難病療養者における生活環境と作業療法支援に関する研究

## ■ 特定講座のご提案

・コミュニケーション障害のアセスメントと支援についての研修会講師

## ■ 研究テーマ

・神経難病のリハビリテーション ・ALSの依頼要求に関する研究 ・神経難病における福祉用具、機器に関する研究 ・失調症状の上肢機能と日常生活活動に関する研究